

現場から伝播する WinActor

費用対効果、効果測定……

WinActorのメリットを他部署や上司に伝えたい方へ



自分の業務をロボ化したら それで終わり?

WinActorで現場の業務効率は上がったけれど、自部署だけで完結するのはもったいない……。

他のメンバーや他部署など、もっとWinActorを活用できるのではないかとってはいても、**導入後の効果をうまく説明できなければ、上長を説得して周りに伝えることができません。**

本資料では、WinActorを現場のあなたから社内に広めるために必要な情報とテクニックを解説していきます。



RPA (WinActor) を社内浸透させるまで



学習する

WinActorの特性を理解し、どのような業務に適用できるのかを理解しましょう。



効果を発揮する業務を選ぶ

RPAは幅広い業務に対応できますが、人間が手作業したほうが向いている業務もあります。RPAの効果を高めるには、ここまではRPAに任せる、ここからは手作業で行うと線引きをすることで、業務の質を高めることができるでしょう。



シナリオを作る

自動化したい作業をWinActorに記録。ノート・ライブラリなどを組み合わせ、シナリオを作成します。



成果を可視化する

RPAを導入したことで得られた成果を“可視化”します。作業時間短縮やヒューマンエラー減少など、作業効率が向上したことを証明できる数値を出すことが重要です。



上司や周囲にPRする

成果を定量的に示すことで、第三者にも導入効果を明確に伝えることができます。

RPAでできることを学習する

RPAで「できること」と「できないこと」を正しく理解しないと、期待する効果が出ず、使われないままになってしまいます。

WinActorは、プログラミング知識がなくても上手にロボを作ることができる現場よりのツールです。基本的なことは最初に学習することで、誰でも簡単に業務を自動化することができます。学習方法は、オンライン・オフラインと自分のタイミング等に合わせて様々な教材をご用意しています。

まずは、基本的な操作を学んでみましょう。

WinActorのシナリオ学習に役立つサービス

■ …無料 ■ …有料

学習Level

	Web学習	E-learning (入門編)	E-learning (ベーシック)	E-learning (アドバンス)
オンライン	■	■	■ シナリオ作成レシピ1分動画 (YouTube)	
対面学習			■ オンラインセミナー ※開催はHPで都度案内	
オフライン	■	■ 集合研修 (初級)	■ 集合研修 (中級)	
		■ 実践ガイド (その他)		

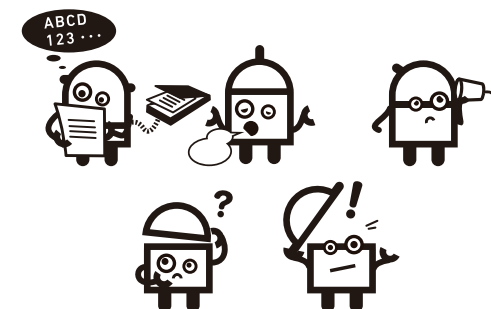


効果が出やすい業務を選ぶ

RPA化を進める上で、「どの業務に対して自動化を行うか」という業務の選別は重要なポイントです。

業務選定が曖昧なままだと、ロボの開発段階で思いがけず時間がかかったり、思ったほどの効果が得られなかったりと、RPAの必要性を説くことが難しくなります。

このような失敗を回避するためには、業務の選定基準を設けておく必要があります。



RPA化する業務選定のポイント

01 導入難易度が低く成果の出やすい業務に優先度をつける

<導入難易度が低い業務 例>



繰り返し操作が多い作業

特定フォルダに格納されている
ファイルの数だけ
同じ処理を繰り返す



単純明快な作業

ボタンを押し続ける、
基準に沿って正否を下すなど、
人が考える必要のない作業



ヒューマンエラーが問題になっている作業である

転記ミス、入力ミス等、
手作業中心の作業で
ミスが起こりやすい

02 そのうえで以下の観点を含めて優制度を決める

<優先度の付け方 例>



業務サイクルの頻度が高いもので、
自動化シナリオを作成する価値があるもの

日次処理、週次処理、
随時だが頻度が高いもの

一方で、**年次処理等**であればシナリオ化する稼働のほうが多くかかってしまい不向きです。

成果の出やすい業務

WinActorの導入事例をもとに、他企業がどのような作業をRPA化して成果を上げているかをご紹介します。

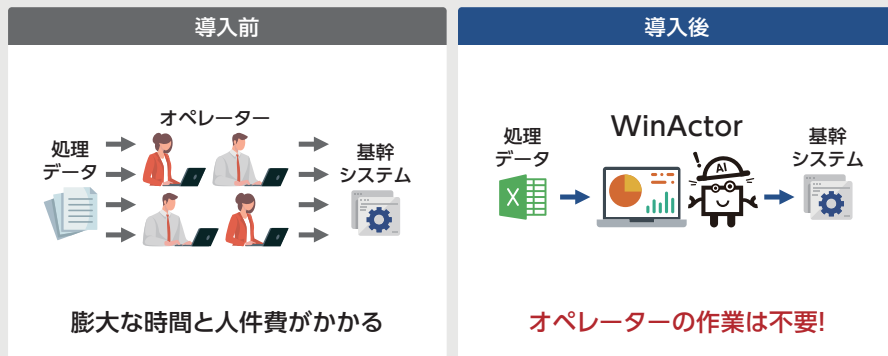
CASE 01

保険業

紙ベースの事務処理

[WinActor]導入の背景及び課題

手書きの申込書や契約書のデータ入力、それをプリントアウトし、さらに基幹システムに再度データ入力する必要があり、膨大な時間と人件費がかかっていた。



処理データはExcelなど複数のソフトウェアを経由し基幹システムに入力するためオペレータによる作業が必要だったが、WinActorを異なるソフトウェアの橋渡し役にする事でオペレーターの作業が不要になった。

2ヵ月で約1,700時間の作業時間短縮を達成

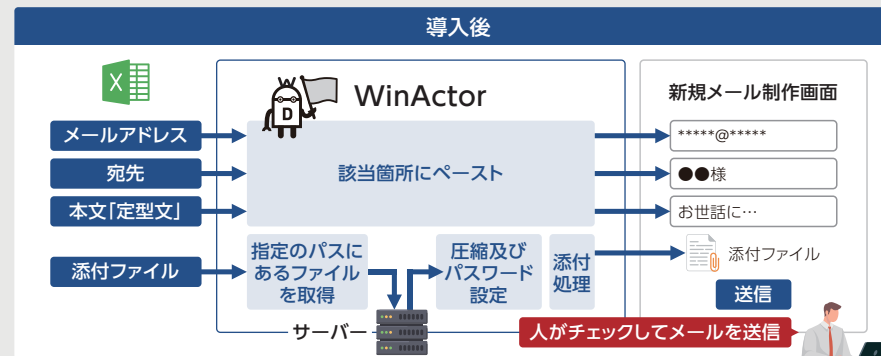
CASE 02

管理部門業務

コンピューターのシステム設計及びソフトウェア開発業務ほか

[WinActor]導入の背景及び課題

“正確性”と“迅速性”が求められる業務の中で、ミスによるやり直しにかかる工数を削減し、品質向上に務める必要があった。



リアルタイム性と正確性が求められるメール作成・確認用ロボットを作成。多くのお客様や協力会社に膨大な数の見積もり、請求を送信する際に、間違いなく行うために三重の確認をしていたが、WinActorを挿入することで素早く正確に行えるように。

約2,500時間の効率化と担当者の心理的負担軽減に成功

シナリオ作成のポイント

シナリオ作りはRPA導入の要であるとともに、乗り越えるべき壁でもあります。

シナリオ制作のコツ | 業務手順の見える化

RPAシナリオ作成のコツは、

作業手順を書き出し、業務手順を「見える化」することです。

業務手順を「見える化」することで、下記のメリットがあります。



業務の標準化

属人化してブラックボックス化していた
見えなかったことが**誰でもわかるように**



生産性向上

手順が明確になることで**効率が良くなる**

WinActorのシナリオ作成に役立つサービス



User Forum

<https://winactor.com/questions/>

WinActorユーザーが、お互いの知識やノウハウを交換するコミュニティサイトです。シナリオ作りでわからないことを質問したり、作成したシナリオを共有したりすることができます。RPAに関する日頃の悩みから新たな活用方法など、手軽ながら質の高い情報収集が可能です。



DXマーケットプレイス

<https://nttdata-mp.com/>

DXマーケットプレイスではシナリオやライブラリ等、RPA推進に役立つアイテムを安心して入手することができます。見積もり～決済までをワンストップで行うことができ、欲しいサービスがすぐに見つかります。



シナリオ作成レシピ1分動画

誰でも簡単! WinActor活用レシピ

https://www.youtube.com/channel/UC_uln28QIBSH_eitQGBdmbg

シーン毎のWinActorのシナリオ作成方法をデモを行いながら分かりやすく解説している短編動画です。お料理レシピ動画のように、WinActorのシナリオをレシピ通りにマネするだけで作ることができます。

成果の可視化

RPAの導入によって期待できる効果には、**定量的効果と定性的効果の2種類があります。**



定量的効果

定量的効果は数値として得られやすいため、投資対効果の算出に用いやすい。

例) 人件費、作業時間など



定性的効果

投資対効果の算出には不向き。付加価値という扱いになるが、業務内容や業務スタイルの変革につなげていくことができるため、軽視はできない。

定量的効果の可視化

RPAの導入により削減できた人件費を可視化することで成果が見えます。

$$\text{削減できた人件費(年)} = \text{1件の処理で削減できた時間(単位:時間)} \times \text{1年で処理できた件数} \times \text{担当者の時間当たりの人件費}$$

削減できた人件費から、RPAのライセンスや保守運用にかかる費用を差し引くことで、定量的効果による投資対効果を測定することができます。

定性的効果の可視化

数値では表しづらいですが、以下のものが挙げられます。

- 業務の自動化による人的ミスの削減や業務品質の向上
- 業務の自動化と配置転換による人材不足の解消
- セキュリティの向上
- 社員のストレスが減った
- 削減できた時間で、高度な業務に取り組むことができる

■ 周囲へのPR方法

経営者のトップダウンでRPAを導入した場合を除き、多くの現場ではRPAの効果を享受しても、他メンバーや他部署への展開方法が分からないままに、社内に展開できていない状況にあります。RPAを周囲に広めるためにはコツが必要です。

事例発表会で 知識を共有



RPAの効果を社内集会で発表することで、**RPAの存在を周囲に認識してもらいます。他の従業員に気付きを与えたり、自分の業務へ置き換えて考えてもらったりと、興味関心を引き起こす効果が期待できます。**効果的な例として、動画を作ることでより分かりやすくPRをしている企業もあります。

デモを交えた 社内向けセミナーを開催



RPAに関心があっても、実作業への展開の仕方が分からない他部門のメンバーに効果的です。**業務の切り出しからシナリオ作成、実践までの工程を示すことで、RPAの導入ハードルを下げ、実践までのノウハウを提供することができます。**

展示会や研修で RPAの認知を拡大



社内向けの展示会を開いて成果を全社にアピールすることで、RPAの認知を拡大します。認知や効果が広まってきた段階で、**RPAを紹介する展示ブースを設置し、ロボットが実際に動いている様子や業務の処理速度を見せたり、操作してもらおう、ロボ開発を体験してもらおう**といったセミナー等を開催し、**理解をより深めてもらいます。**

	WinActor トライアルライセンス (30日間)	WinActor フル機能版ライセンス	WinActor 実行版ライセンス	有償トライアルサービ ス (60日間) ※2
	全ての機能が30日間無料で使えるお試し版です。RPAツールご利用の検討にご活用ください。 無料申し込み >	RPA構築と実行、双方が可能なライセンスです。	RPAの実行のみが可能なライセンスです。	WinActorトライアルライセンスに加えて、「WinActor初級研修(1day)」および「技術相談(2h)」の特典付きのサービスです。
価格(税込)	無料	年間ライセンス 998,800円/年	年間ライセンス 272,800円/年 248,000円 (税抜)	209,000円

業務自動化ソリューション WinActor

推進コンサルサポートや、導入後の運用支援や研修・トライアル等の各種サービスをご提供しています。まずは弊社窓口にお問い合わせください。

ご相談・お問い合わせ

Web サイトお問い合わせフォーム

 <https://go.winactor.com/contact/product/> 



NTT DATA